



越前町
ECHIZEN

2007. 8. 1
vol.9

議会だよい



豊漁祈願祭 一ヒラメの稚魚放流一 (厨 長須浜)

おもな内容

- ☆ 6月定例会報告 … 2
- ☆ 一般質問 4
- ☆ 議会活動日誌 8
- ☆ こちら広報室 10

発行・越前町議会 発行責任者・議長 井上信雄 編集・議会広報特別委員会

〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1

TEL (0778) 34-1234 (代)

六月定例会報告

○越前町税条例の一部改 正について

歳出
主なもの

組み合せた総合的防止対策に取り組む集落に対する

被保険者の生活習慣病対策を重点的に行い、生

明許費繰越計算書

会期 3日間 招集 6月20日

22

議案審議結果

次に議案が審議され、
いずれも原案通り可決さ
れました。

① 報告書…4件
② 議案…8件
③ 意見書…2件
決議…1件

① 報告案件

○平成18年度越前町一般会計繰越明許費繰越計算書

○平成18年度越前町介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書

○平成18年度越前町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

○平成18年度越前町公共下水道事業特別会計繰越するもの。

原子力発電施設等立地地域として指定された本町の区域内(越前地区)の製造業、道路貨物運送業、こん包業又は卸売業の要件を充たす固定資産税の不均一課税について定め

○平成19年度越前町一般会計補正予算(第3号)

○農林水産業費
越前地区(厨区)新設
織田地区(二崎区)改築
増改築工事に要する補助金。

○集会施設トイレ改修費	
(織田地区高橋区)	
正予算 (第1号)	○平成19年度越前町国保 健康保険事業特別会計預 補正額 200万円
(予算総額)	21億
7, 348万4千円	

○ 平成19年度越前地区防災行政無線戸別受信機等購入事業物品売買契約について

7, 560万円

越前地区の防災行政無線について、デジタル化に伴い、設置をしている情報基盤施設(同報系、デジタル式)の越前総合

○ 越前町過疎振興対策のための固定資産税の課税

(2) 上場株式等の譲渡所得等に係る税率の特例措置

○定住人口の増加を図るための宅地造成計画に係

資源循環利用を図るため
及び特定保健指導事業」
の補助金。
の委託料。

について

(3) エンジエルまたはエンゼル税制の適用期間を二

地図
桜川地係

○平成19年度越前町老人保健事業特別会計補正予算

れか本町の団塊(前起)地区)の産業の振興と雇用の増大を図るため要件

年延長

◎既存費

境整備に伴う進入路用地、
305号道路改良及び環
境整備に伴う進入路用地、
補正額
2,333万7千円

を充たす固定資産税の課税免除を定めるもの。

及び条約適用等に係る個人町民税の課税の特例期

◎衛生費

（予算総額） 225億
9,033万4千円

決議案を全会一致で可決

「飲酒運転根絶に関する決議」

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、私たち越前町民すべての願いであり、長年の課題である。

しかしながら、全国各地における交通事故の発生は、毎年多くの犠牲者を出しておらず、特に重大な犯罪行為である飲酒運転による悲惨な事故は、後を絶たない現状である。

飲酒運転を根絶するためには、運転者はもとより、同乗者、その家庭や職場、さらには地域が一体となって、飲酒運転は「絶対にしない」、「させない」、「許さない」という強い意志を示さなければならぬ。

よって、越前町議会は、越前町の飲酒運転の実態に鑑み、改めて交通安全意識の徹底を強く呼びかけ、関係機関、団体との連携を強め、町民と一緒に越前町から飲酒運転を根絶し、「飲酒運転根絶の町 越前町」の実現に向け、全力を挙げて取り組むことをここに決意する。

以上決議する。

平成19年6月22日

越前町議会



以上の説明を受け、議員からは、町民の治安を守る体制の強化を強く要求しました。

図り、現在の丹生警察署は分庁舎として残し、また、町民が安全で安心して暮らすことが出来る、地域社会の実現のために、現在の駐在所についても、そのまま残すこととした。

地震・暴風雨・豪雪・洪水・高潮等の被害防止

越前町国民保護計画を策定

(武力攻撃事態等において住民の生命、身体及び財産を保護)

6月22日 於 議会全員協議会室

武力攻撃事態等における住民の避難や、救護等保護措置が的確かつ迅速に行えるよう「越前町国民保護計画」が策定されました。この計画には、計画の基本、町の責務、被災地の復旧等が定められていました。

おり、その内容について説明を受けた後、各議員から多くの質疑や要望が出されました。計画推進については、今後、広報誌、ホームページ等で行っていく方針とのことでした。

事務所内親局設備及び越前町本庁舎内、越前分遣所内の遠隔制御器からの同報通信を受信出来る装置。また、一般家庭の受信機さらに、緊急一括放送、一括放送、選択呼出し放送に対応出来る装置の購入費。

○ 越前町公共下水道朝日浄化センターの建設工事委託に関する協定について

2億400万円

越前町公共下水道の整備をし、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に資するための、朝日浄化センターの建設委託費。

○ 「森林の整備・林業・木材産業の振興に関する意見書」

○ 「食糧・農業・農村政策に関する意見書」

議会は、国会および政府に対し、意見書を提出しました。

○ 越前町地域防災計画の概要について

越前町の災害対策については、災害対策基本法に基づき、町防災会議が地域防災計画を作成し、町民の生命・身体および財産を災害から保護し、社会秩序の維持と福祉の確保に資することとされています。

行政の合理的かつ効率的な運営を図るために、副町長、総合事務所長の財務に関する決裁事項等の範囲を見直す説明を受けました。

○ 越前町事務決裁規程の一部改正について(概要)

一部改正について(概要)事務執行権限と責任!事務執行権限における権限と責任の所在を明確にし、

成から販売まで、これまでどおりのやり方を踏襲するつもりなのが。

本町の人口は、合併時から減少傾向が続き、合併時の25,284人から現在では24,685人となり、599人、2・37%の減少となっている。

人口増を図ることを目的として、昨年度は、宅地開発適地調査委託料が予算化された。

この宅地開発適地調査については、調査にあたっての具体的な想定はどうなっているのか。調査の結果選定された候補地は存在するのか。

ための方策もいろいろと実行してきているが、経費ばかり掛かるような状況に陥っている。町がすでにリスクを抱え込んでも結果が、上野田団地のような形として現れています。



朝日地区上野田団地

答

町長

財政的に厳しい本町の現状からして、次の宅地開発において失敗は許されない。

最少の投資で最大の効果を目指すことのできるような方法をとるべきである。

福井市や鯖江市、越前市、越前市のベッドタウンとして伸びていく方がベターと考えております。

まちづくりについて、総合振興計画に基づいて行っており、その中でも特に人口の維持・増加を図っていくことを、



織田地区赤井谷団地



宅地開発に失敗は許されない



青柳 良彦

問

本町の人口は、合併時から減少傾向が続き、合併時の25,284人から現在では24,685人となり、599人、2・37%の減少となっている。

従来どおりの手法では、町がそのすべてのリスクを抱えることになり、疑問を感じている。

朝日地区の上野田団地を例にとれば、現在でも売れ残っている区画はいわゆる在庫として町の負担となっているのが現状である。販売を促進する

方法として、民間業者と共に事業を行うことも検討する価値のあるのではないか。

規模については、越前町全体が均等に発展を遂げるという意味からも、町全体に分散したほうがいいと考えています。

規模については、越前町全体が均等に発展を遂げるという意味からも、町全体に分散したほうがいいと考えています。

また、規模の面でも、ひとつの街を形成するような大規模なものはない。リスクを減らすひとつ

の方法として、民間業者と共に事業を行うことも検討する価値のあるのではないか。

規模については、越前町全体が均等に発展を遂げるという意味からも、町全体に分散したほうがいいと考えています。

規模については、越前町全体が均等に発展を遂げるという意味からも、町全体に分散したほうがいいと考えています。

今年から売り出された赤井谷団地の件にしても、このようなりスクをはらんでいると考えたほうが現実的である。

宅地開発の方法については、行政が丸抱えでやることには賛成しかねます。民間活力を積極的に利用していくないと考えています。

規模の団地をあちこちに作るとそれに伴って、除雪やごみの収集などいろいろと行政経費が増えてしまうことも念頭に置いて宅地開発をしていただきたい。

規模の団地をあちこちに作ると非常に大事なことであるので、そういう方向で検討し、人口が流出する一方で流入が少ない原因についてもよく検討してまいりたいと考えております。

問

町内の均衡ある

答

町長

大の効果を上げることは非常に大事なことであるので、そういう方向で検討し、人口が流出する一方で流入が少ない原因についてもよく検討してまいりたいと考えております。

規模の団地をあちこちに作ると非常に大事なことであるので、そういう方向で検討し、人口が流出する一方で流入が少ない原因についてもよく検討してまいりたいと考えております。

規模の団地をあちこちに作ると非常に大事なことであるので、そういう方向で検討し、人口が流出する一方で流入が少ない原因についてもよく検討してまいりたいと考えております。

貴重な文化財、施設の管理と活用について



久保昌義

問

県指定朝日山古墳公園の管理は不

充分、美しい景観がそこ
なわれているのではない
か。

答

古墳公園は、5・

5haもの広大な自然の中
にあり管理が不行き届
きであるのもご指摘のと
おりであります。

合併により指定管理制度
度を用いて、財団法人朝
日管理公社が古墳公園の
管理運営しております。

施設の改修、遊具の修
繕等は町が実施します。
また、地元の福寿会の
皆さん、日赤奉仕団、公
社の職員、役場の職員等

が草刈を行っています。

越前陶芸公園は県の管
理運営ですが、町が委託
を受けて行っています。

朝日中央公園・江波児
童公園・櫻津児童公園・
不老山公園・剣公園等は
町の運営管理になっています。

越前陶芸公園は1, 3

40万円、不老山公園8
7万円、朝日中央公園は
8万円、古墳公園38万円
で年間維持管理され、極
めて少ない予算である。

現在、越前町では都市

公園全体をどのように考
えるかの理念、どのように
に維持管理していくか、
一度検討していきたいと
思います。

出来れば地元の皆さん
のボランティアによって
支えて頂かないと、古墳
公園の59基の貴重な古墳
を維持管理することは非
常に難しいと思います。

問 工夫は。
群を学習に生かす

答 町長
古墳公園の維持
管理については、地元の
区長さんと相談し検討し
たいと思います。

古墳公園を学習の場に
する事は、教育長と相談
し是非取り組んでみたい
と思います。

まだ未発掘の史
跡もある。財政が
厳しいから一律5%削減
は困る。未来への投資と
思って大事に発掘活用す
べきでは。

農業者、漁業者、観光
協会、越前焼協同組合等
の皆さんと行政と話し合
い、15のメニューを作り
ました。これをインター
ネット上に開設、周遊型
の観光と体験観光に取り
組んだばかりです。

例えば親子で食事体験、
ふるさと丸ごと体験やマ
リンエンジニアップランな
どです。

更に、ウォーキング体
験マップのパンフレット
を作成しました。

40名近い受講生があり、
町外へ情報発信していま
す。

問 変化に富んだ景
観、歴史史跡、文
化財、特産品、伝統工芸
等をネット化し、観光と
研修に結びつけ生かす方
策は。

答 町長
残念ながら地域
資源が活用されていない
と思います。

この六月「越前ふるさ
とみつけ隊」というネッ
トを構築しました。

今年から観光振興室を
独立させ、充実させまし
た。

今年から観光振興室を
独立させ、充実させまし
た。

今年は164ヶ所、3億
9600万円を予算化、
2, 200万円、その内
の60%1億8400万円
を予算化しました。

そこで観光資源を大い
に活用し、交流人口を増
やしたいと思っています。
出来るだけ要望に答え
るという姿勢と緊急性の
高いものは、補正予算で
対応したいと思います。

問 隊の何ヶ所かをス
ゴロクのようにし、二年
ぐらいで10ヶ所めぐつた
ら上がりで特産品を提供
し、観光と研修を結びつ
けては。

問 要望書を提出し
ても区長には、予
算化されているかどうか
わからない。要望書に対
する結果をしっかりと区
長に示すべきではないか。

問 各区長提出の要
望書は種々あるが
どのように応えているか。
これからもそのような方
向で取り組んでいきたい。

答 地域支援法を活
用、まだまだ工夫が足り
ないと思います。アイディ
アを出し観光や研修に活
用したいと思っていました。
つけて説明している。

次の世代に誇れる町づくり



北野正勝

町民の皆様には最大限の協力を仰ぎ、その事を町民に納得いく説明をし、ご理解戴くことが肝要なのです。

が何をしてくれるかではなく、町に何ができるのか、自身に問わなければ、国が示す新合併特例法から未来につなぐ新越前町を護ることはできまいのです。

求められる中、人口の維持、増加と交流人口の増加、未来を担う担い手の育成を図り、町民のパワーやを結集する事がまちづくりに対しての所見であります。

から、福祉関係の事業会計に膨大な赤字を抱える状況、更に、町の経常収支比率は県内17市町及び全国類似団体と比較しても高い数字を示している事にどの様に対処するのか

つである職員数は総合事務所形式をとる以上、また町民の理解が得られるかなど非常に難しい問題です。

問 時々の所見

単に各町村の財政難が理由だったのです。もともと、2万5千人程度の人団規模では、合併による財政効果などは期待できないのです。しかし伝統ある4町村は、対等合併による二三の問題

することによって自治体として存続する背水の選択だったのです。

誇りある自主自立の精神と、少し不便でも頑張る、そんな誇りを伝え、いま一度、町づくりの原点に立ち戻る勇気と冷静さが求められると強く信じます。

丹生郡4町・村合併の主な理由は、合併をして「こんな新しい町をつくりたい」と言うのでなく、

将来、子供たちがこの町に生まれ育って、良かつたと思える様な町を護つていく為にも、次の世代に大きな負担を残すような事をするべきではありません。

先人が悠久の歴史を刻んだこの町を永久に伝え、次の世代に誇れる町づくりを目指すということは、町政に携わるすべての者の使命と確信いたします。そこで町長に伺います。

1、越前町初代町長として、町づくりの所見を伺

2、総合振興計画は10年間のまちづくりの将来像ですが、実行は至難のわざで柔軟に対処していくことが大事だと思います。

答 町長 確かに本町の財政状況は厳しい状況にあり、当面は実質公債費比率の適正化に勤め、経常収支悪化の主な原因の一

国の要求に応える努力をします。

答

町長

新しい地方自治

新しい地方自治

自立への道

自立への道

☆ 新合併特例法

市町村合併のさらなる促進を図る為、総務大臣の定める基本指針に基づき、知事が合併の構想を定め、対象市町村に合併協議会の設置などを勧告できる法律。

☆ 地方自治体財政健全化法

自治体本体の収支だけをチェック対象としていた現行の財政再建団体制度を改め、病院、国民宿舎、農林漁業体験実習館、上水道、簡易水道、公共下水道、集落排水、温泉、国民健康保険、老人保健、介護保険など特別会計や第三セクターを含めた連結ベースで財政状況を把握し、借金や赤字を早期発見し健全化を促す。自治体に①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率の数値を、議会に報告し公表するよう義務づける。08年度決算から制度適用する法律。

答

四

尚 謂員指揮を真摯に
受けとめ財政破綻に到ら

第27回

陶芸家たちが自主的に企画、開催しスタートした陶芸まつりも27回を経て、今では県内はもとより全国の陶芸ファンが毎回10万人も訪れる大イベントに発展しました。

今年は天候に恵まれ大勢の人でにぎわいました。



越前陶芸まつり
5月26～
28日



議員も参加した越前陶芸まつり（宮崎地区）

6月14日、敦賀市金山にある福井県敦賀原子力防災センターの視察研修を行いました。

この施設には、原子力安全・保安院の検査官が常駐し、日本原子力発電㈱敦賀発電所および核燃料サイクル機構「もんじゅ」を対象に保安検査、防災業務を行い、緊急時の拠点となる施設です。

質疑・応答では原子力の安全性を強く訴えました。

福井県敦賀原子力防災センター

議員研修

文教厚生常任委員会委員研修報告 中学校建設に「地産・地消」を！

（県内産スギ材の活用）

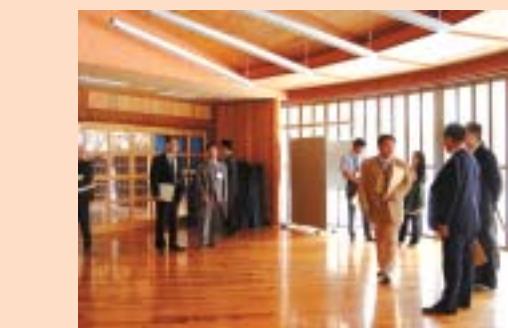
とき = 6月7日・8日

研修先 = 米原市・豊田市・各務原市

委員長 安井 賢二

福井県産のスギ材をふんだんに使った新校舎が出来ないものかと、滋賀県米原市大原小学校と木材加工会社の工場の視察研修を行いました。
大原小学校児童数46人では、地元の木材が床、階段、腰板、天井などに沢山使われており、木の温もりを感じるとともに、木の香りが漂い、児童・保護者、そして教職員から喜ばれています。

一方、これまで難しかつた国産スギ材のフローリング化を実現したのは、圧蜜加工技術のプレス装置で、軟質材のスギを加熱・冷却し、均一圧縮することで、輸入材と同等以上の強度を確保することができたとの説明でした。



大原小学校（米原市）多目的室

一方、これまで難しかつた国産スギ材のフローリング化を実現したのは、圧蜜加工技術のプレス装置で、軟質材のスギを加熱・冷却し、均一圧縮することで、輸入材と同等以上の強度を確保することができたとの説明でした。

と感じました。

原子力の安全を求める



ふるさと林道完成

6月5日厨区で開通式

ふるさと林道は越前町古屋地係を起点に、平等区を経由して厨区を結ぶ総延長 6.758 km の林道です。約10年の工事期間を経て完成しました。

今後、森林の適切な維持管理や生活基盤のための道路として活用され、山村集落間の通行時間の短縮並びに地域の活性化が図られると期待されます。



別司トンネル(厨)



あさがお保育園の
園児による
アトラクション



国道417号青野鎌坂 バイパス開通式

日時：平成19年6月11日（月）

道路の狭隘区間解消のため平成元年より建設中だった茱原～上戸間の工事が完成し、開通式が晴天のもと茱原地係で行われました。バイパスの開通によって今後、地域の発展と観光、産業の活性化が大いに期待されます。



会場：長須浜海水浴場

日時：平成19年6月3日（日）

みんなで清掃に汗を流す

長須浜海水浴場(越前地区)での清掃作業が行われ、町民400人と一緒に知事、町長、議員も参加し、汗を流しました。



今回の清掃作業は、「ゴミのない大変きれいな越前町」を目指し、10年前の平成9年1月、日本海で発生したロシア船籍「ナホトカ号」の重油流出事故を踏まえ、長須浜海水浴場を環境美化の拠点地域として行われたものです。

議会広報研修会に参加! 魅力ある広報紙をめざして!

5月17日自治会館で、全国町村議長会の城市創(じょいち・はじめ)氏を招き議会広報研修会が開催されました。

研修会には議会広報委員7人と事務局員2人が参加し、「議会だより」編集のポイントである広報発行の意義から編集の基本、発行までの具体的な手順を学びました。



議会広報研修会

新しいまちづくりに期待される 議会・議員の活躍



福井県町議会 議員研修会！

6月29日福井県自治会館で「平成19年度福井県町議会議員研修会」が開催されました。

法の改正点や議会の取り組み方について研修を受けました。



議会だよりを通して、限られた紙面ではありますが、違った一面から町の一体化に寄与できたらと、広報委員全員が思っているところです。
今後ともよろしくお願いいたします。
(青柳)

議会広報特別委員会
委員長
副委員長
武藤正勝
北野賢二
杉良春
安弘忠
井良彦
堀春男
吉村良彦
青柳春男

こちら広報室

連絡先

E-mail:gikai@town.echizen.lg.jp

議会のまど

みなさんからの
投稿を募集して
います！



捨て猫のか細い肩に雨が降る

ぬかじる娘の黒髪の艶やかさ

たで 豆食う虫 さんからの投稿



9月議会の傍聴に お越し下さい。

日程については議会事務局にお問い合わせ下さい。

議会事務局
Tel 34-8712

編
集
後
記

新生越前町の誕生から二年半が経過し、我々議員も折り返し点を、通過しました。職員の人事交流も本格的に行われ、行政面での町の一体化も進んでいるようです。

厳しい難局を乗り越えるべく、議会も一丸となつて取り組んでいます。